

はじめに

大きな地震、集中豪雨や局地的大雨などにより、全国各地で被害が起こっています。これらの自然災害を防ぐことはできませんが、**日頃からの備えによって被害を減らすことができます。**

命を守るために「**我がことという意識**」を持って行動しましょう。

まずは、非常持ち出し品の準備や家屋の耐震補強、家具の固定など、**身の回りの安全対策からはじめましょう。**

次に、いろいろな災害を想像して、どこに避難すればよいか、家族とどう連絡を取り合うのかなど、**事前に家族で話し合い、「家庭の避難計画」を作成しましょう。**

この「防災ガイドブック」は、地震、津波、洪水、土砂災害などに関する基本的な知識や、市内の危険と思われる箇所、災害時の避難場所などを地図にまとめました。

日頃から、お住いの地域の危険箇所などを確認し、**いざというときに行動できるようにしておきましょう。**

災害は、避けられないが、皆が、
「我がこと」という意識を持って行動したとき、
自らの生命が守られるだけでなく、
大切な人の生命を守る ことにもつながる。

「掛川市防災意識の高いまちづくりを推進する条例」前文より抜粋



×



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

掛川SDGsプラットフォーム
～「共創」による新しい未来をめざして～



市SDGsプラットフォーム
ホームページ



▶ ステップ 01

災害の危険性を知る

地図を見て、**自宅周辺にどのような災害の可能性があるか確認**します。

また、知識編を確認して、災害ごとの避難のタイミングや、どのような対応、行動が必要か考えます。



▶ ステップ 02

「避難場所」、「避難所」を知る

災害ごとに安全を確保する「避難場所」を考えます。

地図を見て、命を守るために、一時的に避難する場所（指定緊急避難場所）や、自宅などに住めなくなった場合に避難生活を送る場所（広域避難所）を確認しましょう。

地震、津波、洪水、土砂災害など、災害の種類によって、避難する場所や行動は違うので、事前に確認しておきましょう。



▶ ステップ 03

避難経路を知る

自宅から安全な場所までの避難経路を考えます。

地図を見て、災害の危険性が少ない安全な避難経路を選択します。



▶ ステップ 04

家庭の避難計画を作る

ステップ01からステップ03で確認したことを、**家族と話し合いながら**、58ページの「家庭の避難計画」、59ページの「マイ防災マップ」、「家族の情報」に**書き込んでみましょう。**

「家庭の避難計画」は、災害時にあわてないように、日頃から家族が確認できる場所に置いておきましょう。

